

2023 年 6 月

学生認識／行動調査2022

結果報告

学生支援センター

目次

調査の概要.....	2
回答率.....	2
1. 入学動機.....	3
2. 自己肯定感.....	5
3. 他学生および教職員との関係.....	7
4. 施設等満足度.....	9
5. 施設等への要望 [自由記述].....	13
6. 学修状況.....	16
7. 授業満足度.....	20
8. DP 達成度.....	24
9. 生活・心身の悩み・経済状況など.....	32
10. 本学への意見等 [自由記述].....	49

調査の概要

調査期間：2023年2月15日（水）～3月31日（金）

対象者：学部の1～4年生（休学者を除く）

調査方法：Google Formsを利用した（stアカウントからの回答に限定）。

学籍番号取得式による任意回答とした。

設問数：40問（選択式37問・自由記述3問）

回答率

<学科別回答者数・回答率>

学科	日本文学科	中国文学科	英米文学科	教育学科	書道学科	歴史文化学科	社会経済学科	現代経済学科	中国語学科	英語学科	日本語学科
対象者数	613	216	470	483	248	367	812	643	268	834	223
回答者数	67	19	43	35	38	45	62	44	19	75	31
回答率	10.9%	8.8%	9.1%	7.2%	15.3%	12.3%	7.6%	6.8%	7.1%	9.0%	13.9%

学科	法律学科	政治学科	国際関係学科	国際文化学科	経営学科	環境創造学科	スポーツ科学科	健康科学科	看護学科	社会学科	全体
対象者数	889	613	409	358	1415	2	529	314	390	751	10847
回答者数	87	59	28	31	101	1	27	27	32	112	983
回答率	9.8%	9.6%	6.8%	8.7%	7.1%	50.0%	5.1%	8.6%	8.2%	14.9%	9.1%

<学年別回答者数・回答率>

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	全体
対象者数	2674	2856	2669	2648	10847
回答者数	395	248	179	161	983
回答率	14.8%	8.7%	6.7%	6.1%	9.1%

1. 入学動機

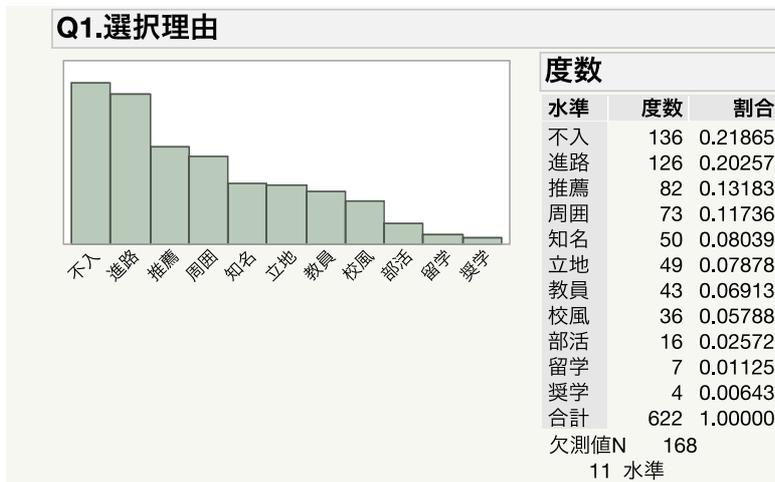
このセクションでは、Q1（入学動機）に関する部分について結果を報告する。

【入学動機】

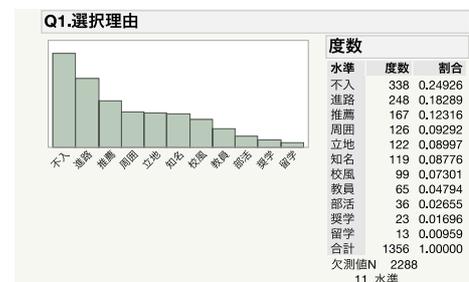
Q1 1年生(2022年度入学生)のみ回答してください。本学に入学した理由は何ですか。(主なものを2つまで)

- ①校風 [校風]
- ②指導を受けたい教員がいた [教員]
- ③将来の希望進路に必要な勉強ができる [進路]
- ④知名度・注目度の高さ [知名]
- ⑤立地条件 [立地]
- ⑥親や先生など周囲のすすめ [周囲]
- ⑦推薦入試制度があった [推薦]
- ⑧希望の部活動等に入るため [部活]
- ⑨奨学金制度が充実している [奨学]
- ⑩留学制度が充実している [留学]
- ⑪希望した大学に入れなかった [不入]

<全学>



参考：2021年度



これはひとり2つまで選択した合計の頻度である。回答した1年生は381名であったので、その回答者の中でどのくらいの割合が各理由をあげたかは以下の通りとなる。35.7%が本学を選択した理由として、「不入」すなわち「希望した大学に入れなかった」をあげた。ついで多かったのは「進路」33.1%である。2021年度は50.1%すなわち1年生の2人に一人が「不入」を選んでいたので比べると、2022年度は3人に一人と、まだ多いとはいえ、大きく割合を減らした。上位4つの理由の相対的順位は変わっていない。

不入	進路	推薦	周囲	知名	立地	教員	校風	部活	留学	奨学
136	126	82	73	50	49	43	36	16	7	4
35.7%	33.1%	21.5%	19.2%	13.1%	12.9%	11.3%	9.4%	4.2%	1.8%	1.0%

参考: 2021 年度

不入	進路	推薦	周囲	立地	知名	校風	教員	部活	奨学	留学
338	248	167	126	122	119	99	65	36	23	13
50.1%	36.7%	24.7%	18.7%	18.1%	17.6%	14.7%	9.6%	5.3%	3.4%	1.9%

では2つ選択した時、どの2つの組み合わせが多かったのだろうか。2つの理由の組み合わせの頻度の一覧は以下の通りである（この設問に回答した1年生381名中、2つの理由を回答したのは241名）。

選択理由1と選択理由2の組み合わせの頻度

度数	不入	推薦	周囲	進路	立地	知名	部活	留学	奨学	教員	合計
進路	25	20	12	0	9	5	4	0	2	0	77
教員	2	5	4	17	4	1	1	1	0	0	35
校風	3	5	2	9	2	7	0	2	0	3	33
周囲	11	21	0	0	0	0	0	0	0	0	32
知名	11	8	6	0	2	0	2	0	0	0	29
立地	12	5	5	0	0	0	1	1	1	0	25
推薦	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	6
部活	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
留学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	71	64	29	26	17	13	9	5	4	3	241

参考: 2021 年度

選択理由1と選択理由2の組み合わせの頻度	不入	推薦	周囲	立地	進路	知名	部活	奨学	教員	留学	合計
進路	47	34	22	15	0	19	9	5	0	0	151
校風	8	10	5	18	27	8	1	0	8	1	86
知名	38	13	11	10	0	0	2	1	0	0	75
立地	34	9	11	0	0	0	0	2	0	1	57
周囲	22	20	0	0	0	0	3	1	0	1	47
教員	4	8	5	3	18	3	2	1	0	0	44
推薦	6	0	0	0	0	0	8	1	0	2	17
奨学	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9
部活	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
留学	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
不入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	173	94	54	46	45	30	25	12	8	7	494

最も多いのが「不入」と「進路」の25名で、次が「推薦」と「周囲」の21名、「推薦」と「進路」が20名である。

2. 自己肯定感

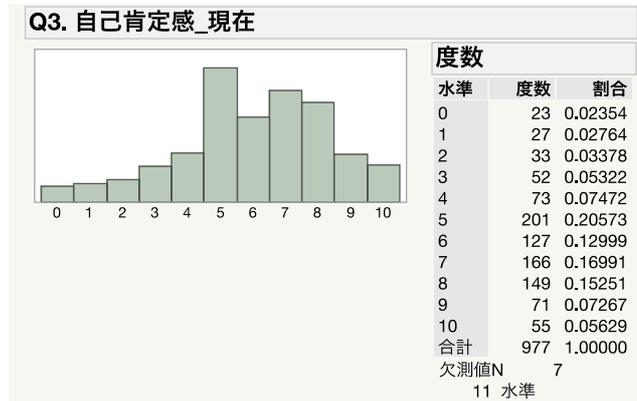
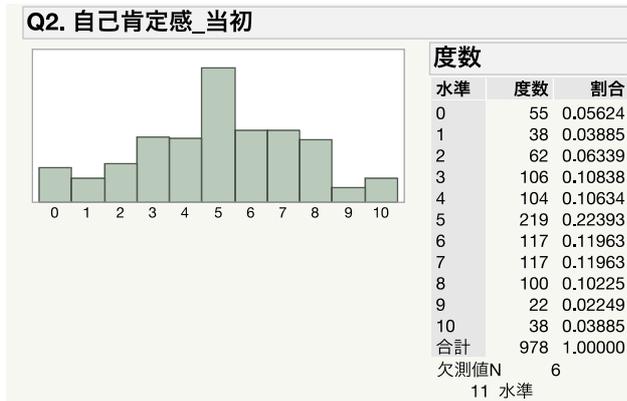
このセクションでは、Q2（入学時の自己肯定感）と、Q3（現在の自己肯定感）に関する部分について結果を報告する。

【自己肯定感】

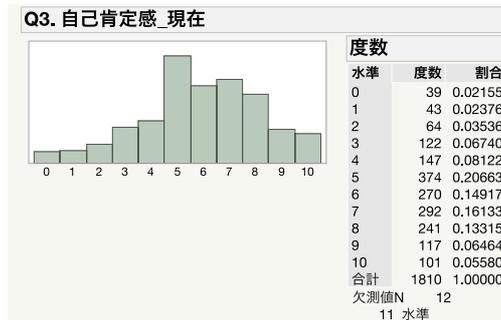
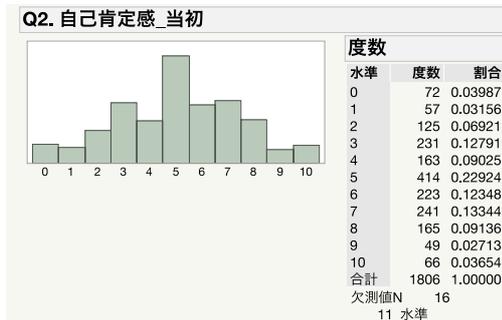
Q2「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、入学時にはどの程度でしたか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

Q3「大東文化大学の学生」としての自己肯定感は、現在どの程度ですか。0(0%肯定)～10(100%肯定)の11段階で選んでください。

<全学>



参考：2021年度



全学の分布をヒストグラムで見ると、最頻値は入学時も現在も5（50%程度の自己肯定感）であり、最低値の0から最高値の10まで広範に分布していることがわかる。平均値は、入学時が5.00、現在が5.99であり、0.99の上昇が見られた（2021年度は、0.80の上昇）。対応のあるt検定を行ってみるとこの差は統計的に有意である。つまり全学的には入学時よりも現在のほうが自己肯定感上昇しているといえ

る。

<学年別>

Q3 の回答数値すなわち現在の自己肯定感を学年別に集計してみた。平均値は1年<2年<3年<4年と高かった。統計的に有意な差は、1年と4年の間にのみ見られた。

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差	下側95%	上側95%
1	392	5.85	2.36	0.12	5.62	6.09
2	246	5.90	2.14	0.14	5.63	6.17
3	178	6.12	2.11	0.16	5.81	6.43
4	160	6.31	2.69	0.21	5.89	6.73

参考：2021 年度

学年	数	平均	標準偏差	平均の標準誤差	下側95%	上側95%
1	672	5.74	2.26	0.09	5.57	5.91
2	518	5.43	2.29	0.10	5.23	5.62
3	393	6.11	2.20	0.11	5.89	6.33
4	227	6.96	2.10	0.14	6.69	7.24

3. 他学生および教職員との関係

このセクションでは、Q4（助け合える仲間）と、Q5（信頼できる教職員）に関する部分について結果を報告する。

Q4 本学の学生の中で、交流し、助け合えるような仲間はひとりでもいますか。 ①いる ②いない

<全学>



<学年別>

学年別			参考：2021 年度		
学年	いる	いない	学年	いる	いない
1	90.28	9.72	1	87.8	12.2
2	92.71	7.29	2	82.6	17.4
3	87.08	12.92	3	92.2	7.9
4	86.88	13.13	4	94.3	5.7

全学では約 90%が「いる」と回答した。学年別には、昨年度は1年生と2年生の数値がやや低かったが、今年度は3年生、4年生の数値がやや低い。コロナ禍で大学生活を過ごした学年であることが関係しているかも知れない。

Q5 本学の教職員の中で、信頼できるまたは比較的気楽に話せる教職員はひとりでもいますか。

① いる ② いない

<全学>



<学年別>

学年	いる	いない
1	50.0	50.0
2	53.0	47.0
3	74.7	25.3
4	71.3	28.8

参考：2021年度

学年	いる	いない
1	44.79	55.21
2	42.83	57.17
3	66.92	33.08
4	80.26	19.74

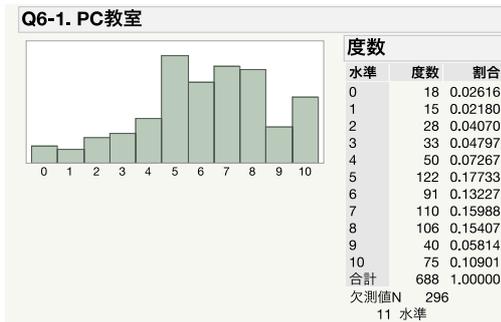
教職員に関しては全体で約59%が「いる」と答えた。昨年度の約54%から上昇しているのは好ましいことである。やはり対面授業が再開された効果かも知れない。学年別には1～2年生と3～4年生の間には顕著な差がある。4年生の値は昨年度ほど高くなっていない。

4. 施設等満足度

このセクションでは、Q6（施設等満足度）と Q7（施設等の改善希望）に関する部分について結果を報告する。

Q6 次のそれぞれの事項に対する満足度はどの程度ですか。0(0%満足)～10(100%満足)の 11 段階で選んでください。利用したことがない場合は、何も選択しないでください。

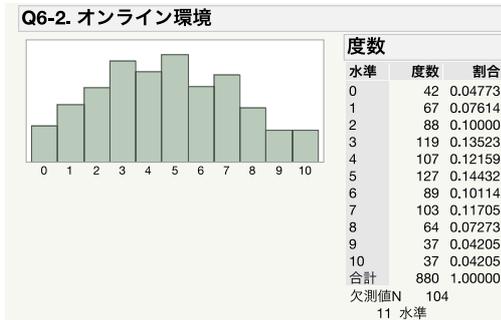
6.1 PC 教室



要約統計量

平均	6.1831395
標準偏差	2.4610279
平均の標準誤差	0.0938258
平均の上側95%	6.3673593
平均の下側95%	5.9989198
N	688

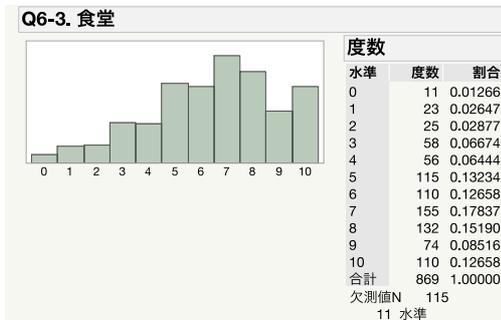
6.2 Wi-Fi などオンライン授業環境



要約統計量

平均	4.6965909
標準偏差	2.6148238
平均の標準誤差	0.0881457
平均の上側95%	4.8695915
平均の下側95%	4.5235903
N	880

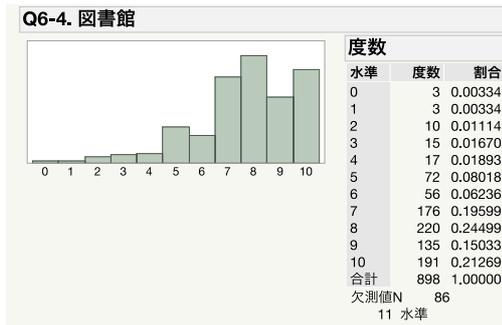
6.3 食堂



要約統計量

平均	6.4591484
標準偏差	2.4376558
平均の標準誤差	0.0826918
平均の上側95%	6.6214477
平均の下側95%	6.2968492
N	869

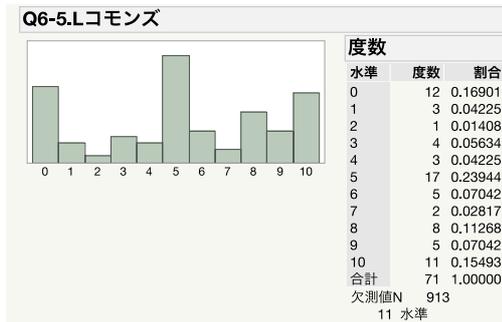
6.4 図書館



要約統計量

平均	7.7383073
標準偏差	1.8980428
平均の標準誤差	0.0633385
平均の上側95%	7.8626163
平均の下側95%	7.6139984
N	898

6.5 ラーニング・commons



要約統計量

平均	5.3098592
標準偏差	3.3999645
平均の標準誤差	0.4035015
平均の上側95%	6.1146176
平均の下側95%	4.5051007
N	71

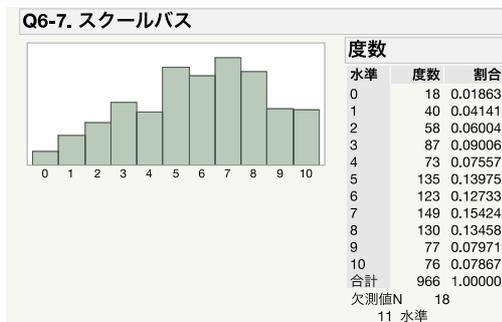
6.6 M ロッジ



要約統計量

平均	6.1959799
標準偏差	2.6047323
平均の標準誤差	0.1846446
平均の上側95%	6.5601022
平均の下側95%	5.8318576
N	199

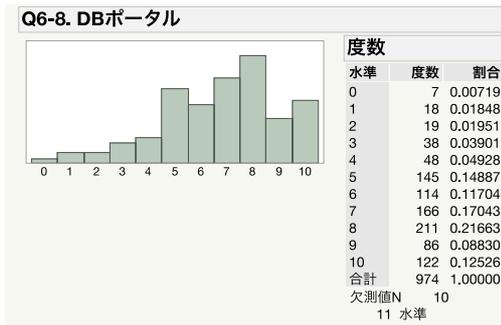
6.7 スクールバス



要約統計量

平均	5.8571429
標準偏差	2.5640572
平均の標準誤差	0.0824972
平均の上側95%	6.0190374
平均の下側95%	5.6952483
N	966

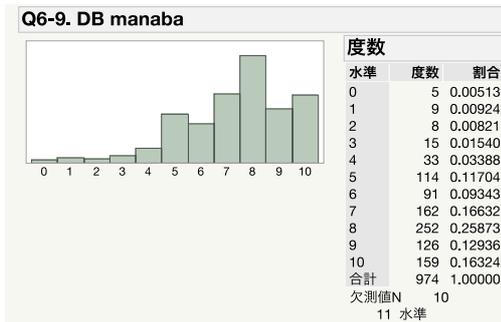
6.8 DB ポータル



要約統計量

平均	6.7915811
標準偏差	2.2235521
平均の標準誤差	0.0712472
平均の上側95%	6.931397
平均の下側95%	6.6517652
N	974

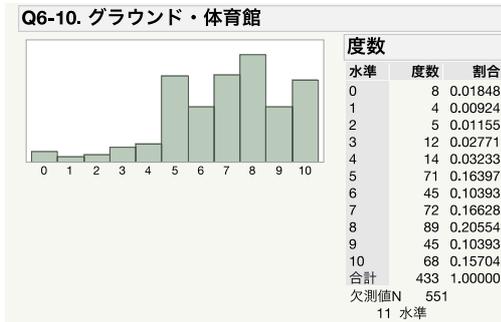
6.9 DB manaba



要約統計量

平均	7.3839836
標準偏差	2.0011277
平均の標準誤差	0.0641203
平均の上側95%	7.5098135
平均の下側95%	7.2581536
N	974

6.10 多目的グラウンド・体育館



要約統計量

平均	7.0023095
標準偏差	2.2510274
平均の標準誤差	0.1081775
平均の上側95%	7.2149291
平均の下側95%	6.7896898
N	433

<平均と標準偏差の一覧>

	人数	平均	標準偏差
PC教室	688	6.18	2.46
オンライン環境	880	4.69	2.61
食堂	869	6.46	2.44
図書館	898	7.74	1.90
ラーニング・commons	71	5.31	3.40
Mロッジ	199	6.20	2.60
スクールバス	966	5.86	2.56
DBポータル	974	6.79	2.22
DB manaba	974	7.38	2.00
グラウンド・体育館	433	7.00	2.25

参考：2021年度

	人数	平均	標準偏差
PC教室	1084	6.26	2.42
オンライン環境	1646	6.00	2.52
食堂	1545	6.92	2.28
図書館	1496	7.86	1.94
ラーニング・commons	174	6.17	2.86
Mロッジ	348	6.73	2.47
スクールバス	1775	6.73	2.43
DBポータル	1803	7.02	2.14
DB manaba	1804	7.56	1.93
グラウンド・体育館	743	7.34	2.05

回答人数が昨年度より少なく、回答者も同一でないので一概に比較はできないが、平均値の数値とし

ては 2021 年度よりもすべての施設に関して満足度が低くなっている。

5. 施設等への要望 [自由記述]

このセクションでは、Q7（施設等への要望）に対する自由記述の結果を報告する。

Q7. Q6 の内容で、特に改善して欲しいことがあれば具体的に書いてください。

この設問には 339 件の実質的なコメントがあった。その内容と件数は以下の通りである。（ひとつのコメント内で複数の内容について触れている場合はそれぞれカウントしている。）

Wi-Fi 等ネット環境について	160 件
スクールバスについて	140 件
食堂等について	54 件
学内システムについて	20 件
図書館について	17 件
PC（教室）について	15 件
体育施設等について	10 件
その他	23 件

<Wi-Fi 等ネット環境について(160 件)>

昨年度に引き続き、Wi-Fi 等ネット環境についての意見は、異口同音に、繋がりにくいエリアがあるので強化して欲しい、というものであった。具体的な場所として東松山校舎の 2、4、6、7、8 号館が挙げられた。

<スクールバスについて(140 件)>

スクールバスについては 140 件のコメントがあった。スクールバスについての圧倒的に多い意見は、(1) 本数が少ない・混雑している、(2) 運転手・スタッフの対応が悪い、であった。特に (2) については 2021 年度と比較して有意にコメント数が増加しており、具体的には「学生を怒鳴りつけたり、威圧的な態度をとったりする運転手・スタッフがいて怖い」、「運転が荒い」という回答が主である。また、(3) バス内や待合室が寒い・暑い、(4) 設備が不十分である、(5) コロナ対策が過剰である・不足している、等の意見も見受けられた。

<食堂等について(54 件)>

食堂等については、(1) 値段が高い、(2) メニューに不満がある、(3) 混雑している・待ち時間が長い、という声が多かった。

<学内システムについて(20 件)>

主に見られたのは DB ポータルに関するコメントと、DB manaba に関するコメントだった。

DB ポータルについては、(1) 毎回のログインが面倒、(2) DB ポータル上の情報へのアクセスを整

備して欲しい、(3) エラーが頻発する、などの声が多い。

DB manaba については、細かな使い勝手についての希望の声があった。

また、授業で使用するのを DB ポータルか DB manaba かどちらかに統一して欲しい、という声が複数あった。

これらについては具体的な声を学園総合情報センターに伝えることとしたい。

<図書館について(17件)>

施設・設備に関するコメントが圧倒的に多く、具体的には(1) Wi-Fi 等ネット環境が悪い、(2) PC の使い勝手が悪い、(3) 自習スペースを整備して欲しい、という内容が主だった。

また、書籍・論文・資料へのアクセスを整備して欲しいという意見も見られた。

<PC(教室)について(15件)>

PC 関係では以下のコメントがあった。

1. パソコン室の机が小さい
2. PC 教室が狭い。アクリル板が余計に幅をとる。
3. 東松山のパソコン教室が少ないので充実できるようにしてほしいです。
4. PC 教室で電源がつかない PC があるので対応してほしい
5. 東松山の7号館2階のパソコン室の机が狭くて講義が受けづらすぎる
6. PC 室の机が狭い為、面積を広げて欲しい。
7. PC 教室での授業において、机にパソコンが置いてあるだけでメモを取る事ができる十分なスペースがない。また、横のアクリル板が窮屈に感じる。
8. パソコンのキーボードがもう少し綺麗だとありがたいです。
9. パソコン室は机と椅子の距離が近い為、キーボードでの入力がやりづらく感じる。
10. 社会学部 pc ラウンジこ Wi-Fi が通じておらず、課題ができない。
11. 東松山図書館のパソコンはどれも処理の能力が低い。Word と Chrome を開くと処理落ちしてしまう。これは一部のパソコンではなく、PC コーナーにある大半のパソコンで起きてしまう現象である。板橋図書館ではこういったことはなく、東松山のみでの現象である。
12. PC 教室をいつでも使えるようにしてほしい
13. 図書館やPC 教室での飲食を一部許可してほしいです。(飲み物は可など。)
14. PC 教室や図書館の PC で、使用できない(電源がつかない、ついても使えない)ものが多い。
15. PC 教室はマウスを動かせるスペースが狭く感じて作業がしにくかった。感染予防のために一時的に離しているだけなのかもしれないが、もう少しパソコンの右側にスペースがあるように配置してほしい。

(原文ママ)

<体育施設等について(10件)>

体育施設等についても、以下に全件を掲載する。

1. コロナウイルスの対策が理由であることは理解できるが、特別強化指定部が総合体育館のトレーニ

ング場の大方の使用権を得ているのは不平等であると考えます。特別強化指定を行うならば、毎年の結果などを考慮して行うことが公平ではないでしょうか。長距離など、総合体育館を利用しているところは見ることがありません。使える部活は限られていているのに使用していない施設に施設費を払っているのは不当さを感じます。私は今年度で卒業しますが、来年度に残る後輩達の為にも、「実績」の評価による特別強化指定部の公平な指定を行なって欲しいです。

2. 総合グラウンドのトイレを治して欲しいです。水圧が弱すぎてなかなか流れません。(女子トイレ)
3. 体育館の通路や階段が暗いので、証明を増やすなど、なるべく明るくなるような工夫をして欲しいです。
4. トレーニングルーム使えるようにして欲しい
5. トレーニングルームを使えるようにして欲しい
6. 体育館のトレーニングルームの貸し出しをずっと1年から2年が終わるまで友達何人かで申請してましたが、最初は健康診断をまだやってないからやってから使えると言われて、健康診断が終わったて再度行ったら、コロナの関係で使えないって言われてばっかで東松山キャンパスでの2年間が終わってしまいました。いろいろ理由あると思うんですが、施設使用料みたいなのを払ってるのでさすがに一回も使えずに板橋キャンパスに行くのはとても残念でした。
7. 総合グラウンドをアメフトの線を入れて欲しい
8. 総合グラウンドや体育館は運動部が専門的に使えるような感じがある。サークルとかにも使えるようにするべきだと思う。現在サークルとかも使えるならばその辺の周知を広める必要がある。
9. 体育館では前期の夏頃に体育館が暑くまた近くに自販機も確認できなかったため水の確保が難しくクーラーもないので熱気がこもりすぐに暑さにばててしまった。クーラーや換気の設備を増やして欲しい。
10. トレーニングルームの利用についてのアナウンス等が欲しい
(原文ママ)

<その他(23件)>

その他に、充電ができる場所を増やして欲しい、空調設備に不満がある、更衣室へのアクセスを整備して欲しい、などの様々な声があった。

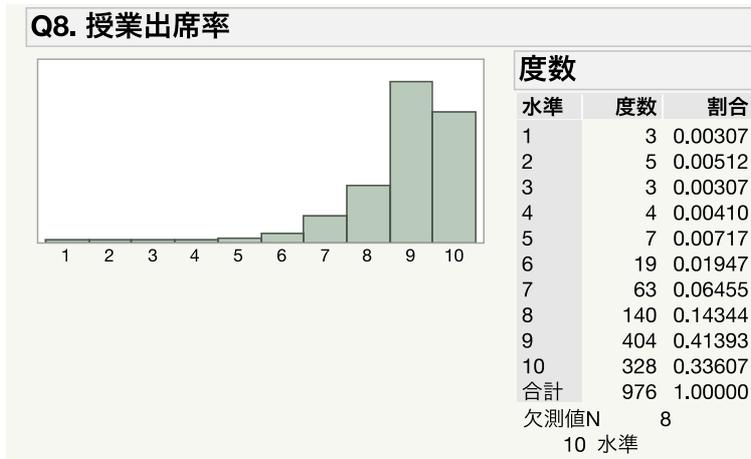
6. 学修状況

このセクションでは、Q8（授業の出席状況）と、Q9（出席状況が悪い理由）、Q10（平均的な学習時間）に関する部分について結果を報告する。

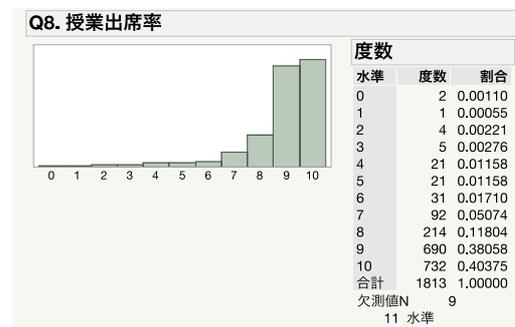
【日常の学修状況】

Q8 授業への平均的な出席状況はどの程度ですか。0(0%出席)～10(100%出席)の11段階で選んでください。

<全学>



参考：2021年度



全学の回答分布の最頻値は9である。9と10で約75%を占めている。昨年度は最頻値が10で、9と10で約78%を占めている。すなわち昨年度よりもやや出席率が下がった。

<学年別>

学年	人数	平均	標準偏差
1	391	8.66	1.51
2	247	9.10	1.02
3	177	9.08	0.97
4	160	8.81	1.34

参考：2021年度

学年	人数	平均	標準偏差
1	670	8.93	1.42
2	519	9.13	1.13
3	396	8.94	1.37
4	228	8.68	1.11
全体	1813	8.98	1.30

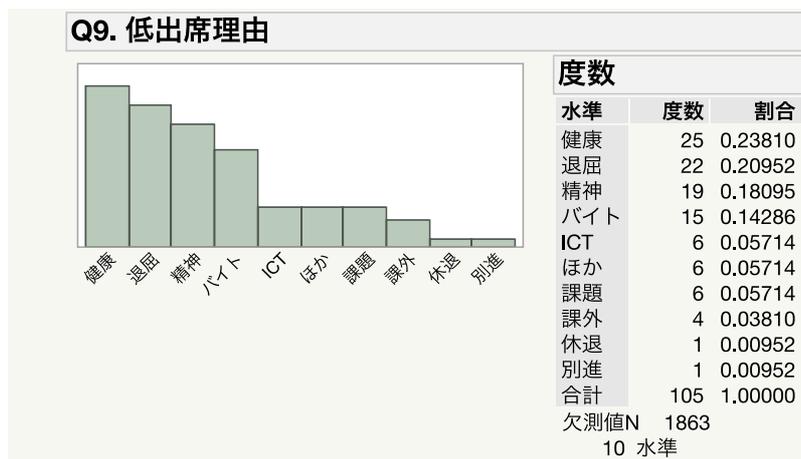
学年別では2年生が9.10と最も高く、昨年度と同じ傾向が見られた。

Q9 Q8で0～4を選んだ方は、その理由を教えてください。(主なものを2つまで)

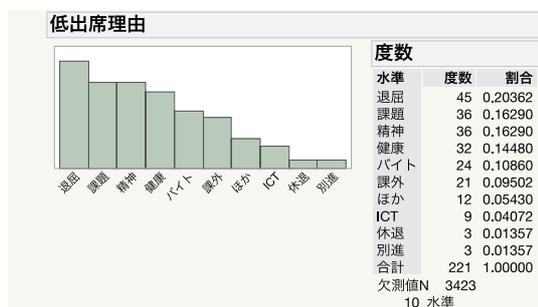
- ①アルバイトに時間を費やしていた [バイト]
- ②課外活動（部活・サークル活動等）に時間を費やしていた [課外]
- ③授業がつまらなかった・やる気にならなかった [退屈]
- ④パソコン・インターネット環境が整わなかった [ICT]
- ⑤課題が多く、すべての授業に対応できなかった [課題]

- ⑥休学・退学を考えている [休退]
- ⑦精神的な悩み [精神]
- ⑧健康上の理由 [健康]
- ⑨別の進路を考えている [別進]
- ⑩その他 [ほか]

<全学>



参考: 2021 年度



最も頻度が高いのは「健康」で、次に「退屈」（授業がつまらなかった・やる気にならなかった）、と「精神」（精神的な悩み）が続いている。2021年度に2番目に多かった「課題」（課題が多く、すべての授業に対応できなかった）は、今年度かなり減った。課題が多くなりがちなオンライン授業から対面授業に移行したことの表れであろう。上の表で「割合」とあるのは、すべての理由を1.00としたときの割合であるが、この項目に回答した人数は71なので、回答した人数に対する割合は、以下のようになる。回答者の約35%が「健康」を、約31%が「退屈」をあげ、約27%が「精神」をあげていたことがわかる。出席率が悪かったと回答した学生で「退屈」を上げたのは2021年度も約30%であった。教員の側からコントロールの難しい「健康」「精神」と異なり、「退屈」についてはその解消に教員が関わることのできる部分があるのではないだろうか。

健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進
25	22	19	15	6	6	6	4	1	1
35.2%	31.0%	26.8%	21.1%	8.5%	8.5%	8.5%	5.6%	1.4%	1.4%

参考: 2021 年度

退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進
45	36	36	32	24	21	12	9	3	3
30.6%	24.5%	24.5%	21.8%	16.3%	14.3%	8.2%	6.1%	2.0%	2.0%

次に学年と理由のクロス集計を、度数と学年内パーセンテージで表示する。

<学年別> (度数)

学年 By Q9. 低出席理由												
学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計	
1	15	12	13	8	5	5	3	0	1	1	63	
2	4	4	2	3	0	1	1	2	0	0	17	
3	3	3	1	1	1	0	0	0	0	0	9	
4	3	3	3	3	0	0	2	2	0	0	16	
合計	25	22	19	15	6	6	6	4	1	1	105	

参考: 2021 年度

学年 By 低出席理由												
学年	退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進	合計	
1	17	18	18	16	6	9	4	3	2	3	96	
2	8	8	5	4	4	4	4	1	1	0	39	
3	12	8	12	9	9	4	4	2	0	0	60	
4	8	2	1	3	5	4	0	3	0	0	26	
合計	45	36	36	32	24	21	12	9	3	3	221	

<学年別> (学年内パーセンテージ)

学年 By Q9. 低出席理由												
学年	健康	退屈	精神	バイト	ICT	ほか	課題	課外	休退	別進	合計	
1	23.8	19.1	20.6	12.7	7.9	7.9	4.8	0.0	1.6	1.6		
2	23.5	23.5	11.8	17.7	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0		
3	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
4	18.8	18.8	18.8	18.8	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0		

参考: 2021 年度

学年 By 低出席理由												
学年	退屈	課題	精神	健康	バイト	課外	ほか	ICT	休退	別進	合計	
1	17.7	18.8	18.8	16.7	6.3	9.4	4.2	3.1	2.1	3.1		
2	20.5	20.5	12.8	10.3	10.3	10.3	2.6	2.6	0.0	0.0		
3	20.0	13.3	20.0	15.0	15.0	6.7	6.7	3.3	0.0	0.0		
4	30.8	7.7	3.9	11.5	19.2	15.4	0.0	11.5	0.0	0.0		

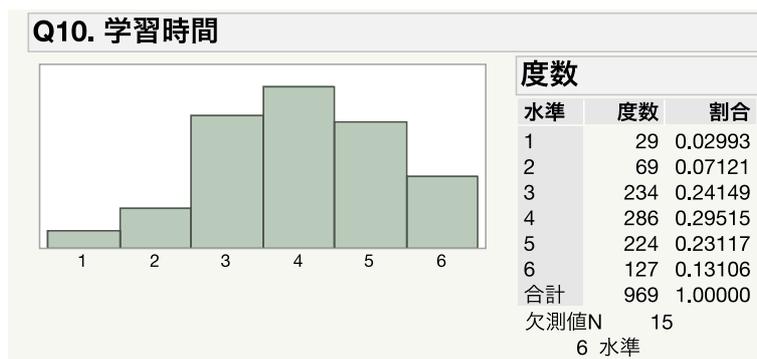
まず度数に関しては、1年生が63と突出しているが回答した母数もまた1年生が最も多いことの反映

ともいえる。また「別進」(別の進路を考えている)と「休退」(休学・退学を考えている)は1年生のみで2年生以上にはいなかった。

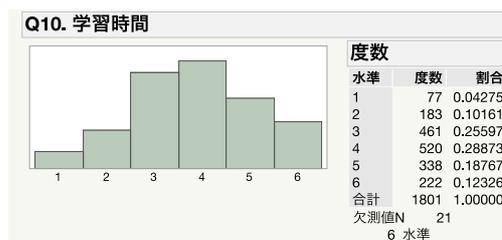
Q10 授業のための予習・復習・課題、資格取得のための準備等を合わせて、一日平均どのくらい学習しますか。

- ① 4時間以上 ② 3時間程度 ③ 2時間程度 ④ 1時間程度 ⑤ 1時間未満 ⑥ ほぼしない

<全学>



参考：2021年度



最頻値は4(1時間程度)で、約30%を占める。昨年度とほぼ同様の結果である。大学生の学習時間としては少ないと言わざるを得ない。6(ほぼしない)も昨年度約12%だったのが約13%に増えた。次に学年別の分布を示す。

<学年別>

学年	1	2	3	4	5
1	1.8	4.9	20.9	28.4	28.7
2	2.0	8.9	28.5	35.8	15.5
3	6.8	10.2	25.6	27.3	18.8
4	3.1	6.3	23.9	25.2	25.8

参考：2021年度

学年	1	2	3	4	5	6
1	2.9	8.1	26.8	30.9	18.6	12.7
2	5.4	14.3	29.6	26.1	16.4	8.1
3	5.3	10.7	22.4	27.5	19.3	14.8
4	4.0	5.8	18.3	31.7	23.7	16.5

学年別には1(4時間以上)の割合が最も高いのは3年生で、1(4時間以上)と2(3時間以上)を合計した割合が最も高いのも3年生である。1と2の合計(すなわち3時間以上学習している)、1と2と3の合計(すなわち2時間以上学習している)による学年の順序は共通で、1年<4年<2年<3年であった。すなわち1年生の学習時間が最も短く、3年生の学習時間が最も長い。昨年度は4年<1年<3年<2年であったが、いずれにしても、1年生と4年生の学習時間は比較的短く、2年生と3年生の学習時間は比較的長い、という傾向があるように思われる。